

学校だより 5月号

地域と連携し、「今を精いっぱい生きる」生徒を育てる学校

狭山市立柏原中学校
TEL 2954-5073

若葉薫る季節 5月!



校長 田中茂樹

爽やかな5月を迎え、校庭の木々も日に日に緑を濃くしています。始業前のグラウンドや体育館、裏のテニスコートには、部活動に励む生徒たちの元気な声が聞こえます。

ゴールデンウィークが終ると、学級の係などの組織や学習も軌道に乗り、充実した学校生活が始まります。この5月で1年が決まると言っても過言ではありません。学校では、小学校の時もそうであったように、みんなでルールを守り、友達と協力して学習に取り組みます。ご家庭でも、家庭学習の習慣づけや家庭での役割としてのお手伝いなどに取り組みさせ、学校と連携しながら生徒たちを育てていきましょう。

教育相談始まる



10日(火)より教育相談が始まります。

生徒たちは、新しい学級、新しい友達と出会い、無事スタートを切ったところです。すべての生徒が、新しい環境に適應できるように担任を中心として我々も努力しているわけですが、中にはうまく適應できず、悩みを抱えている生徒もいるかと思えます。教育相談は、そのような生徒の相談にのること、かわりの中で教師と生徒の人間関係をつくる場でもあります。人は悩んで大きくなると言いますが、必要ないことで悩むことはありません。放課後、一人15分ぐらいですが有意義な時間になることを期待しています。

なお、教育相談室には常時必ず1人の相談員がおり、いつでも相談できる体制が整っています。保護者の方も利用できますので、お困りのことがありましたら来室、または、電話をしてください。ちなみに校長室もOKです。お待ちしております。

緊急時の対応について

3月11日の東日本大震災から、50日余りがたちますが、未だ身元が確認できない方々がたくさんいらっしゃいます。復興の兆しが未だはっきりしないのも大変残念なことです。1日も早い、復興を願って止みません。

さて、二度と起こってはもらいたくありませんが、もし同じようなこと、もしくは緊急に生徒を帰さなくてはならない時は、小学校と異なり集団での下校はありません。安全を確認し、頃合いを見計らって、我々教師が、各地域に分散し、一緒に帰るようにします。先の地震の時は、携帯等での電子メールはある程度の時間の間、使用できましたが、電話は早い時間で使えなかったのが現状でした。これを教訓にご家庭では、もしもの時はどうするか、決めておくといと思います。

5月の主な行事予定

- 2(月) 授業参観・部活動保護者会
 - 3(火) 憲法記念日
 - 4(木) みどりの日
 - 5(木) こどもの日
 - 6(金) 心電図(1年)
 - 10(火) 学校朝会、教育相談日①
 - 11(水) 集金日
 - 12(木) 歯科健診、教育相談日②
 - 13(金) 専門委員会、PTA総会
 - 14(土) 土曜授業日
 - 17(火) 学年朝会、教育相談③
尿検査
 - 18(水) 教育相談④、尿検査
 - 19(木) お弁当の日、教育相談⑤
 - 20(金) 市内通信陸上大会
 - 23(月) 内科健診(2年)
 - 24(火) 生徒朝会、眼科検診(全校)
 - 25(水) 第1回あいさつ運動
 - 26(木) 中間テスト
 - 27(金) 中間テスト、専門委員会
 - 30(月) 内科健診(1年)
 - 31(火) 学校朝会、尿検査2次
- 6月
- 1(水) 集金日
 - 3(金) ~ 4(土) 宿泊学習(2年)

※予定ですので変更になる場合がありますので、ご了承ください。

居安思危（こあんしき）

平時にこそ準備を

「安き居（とき）に危うきを思う」という意味です。これは中国の孔子が編纂した歴史書『春秋』の注釈書の一つ『春秋左氏伝』にある言葉で、「平安無事の時にも危機に備え、用心を怠らないこと」という意味です。（校長室に掲示し座右の銘にしています。）

お陰様で、順調なスタートが切れた平成23年度。毎朝、雨の日も風の日も、風間教頭先生が校舎内外を見回っています。危険なところはないか、ガラスなど危ない物は落ちていないか、子どもたちの安全・安心を考え、回ってくれています。

校務員の吉川さん、夏目さんも掃除などをしながら、安全に気を配っていただいています。修繕もしていただいているので、学校もきれいになっています。

思いつくまま 1

先日、校長研究協議会という研修会があり、その席上で来賓の方が次のようなことを挨拶の中でお話してくださいました。それは、「3つの言葉」を使いこなせると一生食いつぶぐれがない、と言う内容でした。その3つの言葉とは、「おはようございます、はい、ありがとうございます」です。何となくわかるような気がします。「おはようございます」は、礼儀であり、相手への積極的なアプローチでもあります。また、「はい」は、返事であるとともに、それはあなたの話を聞いていますよ、ということやあなたの意図することを受け入れるよ、という反応でもあります。そして、「ありがとうございます」は、感謝の気持ちを表すものであり、相手に対する敬意も表しています。難しいのは、これを使いこなすことです。私も、意識して生活したいと考えています。

私は、毎日、校門や廊下で、校庭で、いろいろなところで生徒に声をかけるようにしています。よく返事ができます。でも、まだまだ声が小さいように思えます。「おはようございます、はい、ありがとうございます」などの言葉を適度な声で、しっかり使えるような学校を生徒と共につくっていきたいと思っています。

思いつくまま 2

校庭を回り、部活動を見に行きます。私の姿を見ると、「おはようございます」という挨拶してれます。朝からさわやかな気持ちになります。中には、わざわざ活動をやめて、しかも帽子を取り、挨拶する部や部長自らが「校長先生、おはようございます」と挨拶し、部員がそれに続くといった部もあります。中断させて申し訳ないなあ、と思いながらも躰がしっかりしているなど感激します。思わず「がんばって」と声をかけてしまいます。

しかし、こちらからしないといけない部もあり、ちょっと残念。これからこれから、と自分に言い聞かせ、こちらから挨拶して回っています。

ところで、自分たちが練習する場に草が繁茂しているのは、元運動部の顧問としては見逃せない状況で、どうにかしたいと考えています。

もう一つどうにかしたいことに、バレーボール部の活動場所の確保があります。体育館を使用する順番でない時、校庭の片隅でやっています。一生懸命やっている姿を見る度にどうにかできないか考えさせられます。